

天国の亜美へ

佐藤亜子

秋田県・九・小学生

亜美、元気ですか。

亜美がいなくなつて、最初は全然悲しくなかったのに、今はちがうよ。悲しくて悲しくて、時どき亜美の写真を見ながら、泣いてしまうこともあるんだよ。お姉ちゃんのこと笑わないでね。亜美といっしょに遊んだり、笑ったり、けんかしたり。亜美のせいでお母さんにおこられたこともたくさんあつたけど、それも今では大切な思い出だよ。

いつもとなりになっていた亜美がいなくなつて、家がちよつと暗くなつた感じがするんだあ。あとね、お姉ちゃん自身も暗くなつた気がするんだ。だから、心の中で亜美に、学校のこと、友だちのこと、部活のことをいっぱい話しているんだよ。

運動会で今まで走るのが二位だった大が一位になつたんだよ。みんながね、きつと亜美が空からおうえんしてくれたおかげだねって言つてたよ。ありがと。

お姉ちゃんね、町の陸上大会の百メートル走にでたんだよ。すごいだよ。スタートの前にドキドキして、おなかガズキ痛くなつてきたけど、お母さんから亜美の写真をもらつていたから、だんだん力が出てきたんだよ。亜美の写真をにぎつて、亜美といっしょだと思つて走つたんだよ。したらね、不思議なんだけど足が軽くなつたような気がしたの。自分でもびっくりしたんだけど、他の人には、負けたくないと思つて、思いきりグランドをけつて走つたよ。

二位に終わつたけど、亜美がきつとお姉ちゃんの背中をおしてくれたんだなあと思つたよ。走り終わつた後、みんなに見えないところで写真の亜美に「ありがと」と言つたんだよ。

亜美がいつもいつも空から見てくれているって信じているからね。だから、お姉ちゃんどんなことでもちよう戦ってがんばるからね。どんなことでもくじけないでがんばるからね。

大好きな、亜美へ。

*大は私の弟で、亜美の兄さんです。五月に急になくなった妹に書きました。